資料２

平成26年度　第四次千葉県障害者計画進捗状況（抜粋）

（評価）平成26年度実績の達成状況	
	A 目標値の100%以上の達成率
	B 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E 目標値の30%未満の達成率
	－ 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第２章　障害のある人もない人も共に生きる地域社会の実現に向けて								
1	千葉県自立支援協議会（現・総合支援協議会）の部会数		4 部会	5 部会	5 部会	5 部会	6 部会	A	入所・地域移行等ＷＴを組織した。
10	日常生活自立支援事業利用件数		560 件	626 件	728 件	800 件	884 件	A	高齢化の進展に伴い、着実に需要が増加しており、今後も体制整備を進めていく。
11	県が共催・後援する障害者施策等に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数		7 回	13 回	6 回	50 回	17 回	D	各種大会、講演会等を後援した。今後も当事者団体等が開催するイベントには積極的に関わっていきたい。 ※県が主催のものは含まず。69番参照

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第４章　障害のある人のための施策の展開 **１．健康と生活支援**								
23	グループホーム・ケアホーム・生活ホーム・ふれあいホームの定員		2,680 人	3,066 人	3,462 人	3,350 人	3,600 人程度（概数）	A	調査中。 目標は達成する見込み。
25	地域活動センター所在市町村数		36 市町村	35 市町村	35 市町村	54 市町村	35 市町村	D	市町村が地活センターから障害福祉サービス事業への移行を促していることから計画どおり進捗していない。県単加算の活用により実施市町村を拡大していきたい。
26	ホームヘルパーの養成	養成人数	68 人	65 人	70 人	100 人	51 人	C	精神障害のある人への支援に特化したホームヘルパーの研修。実習の受入施設を十分に確保できず、定員が目標値を下回ってしまった。
		研修回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	A	回数は計画どおり進捗している。
27	同行援護従事者の養成	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
28	行動援護従事者の養成	養成人数	30 人	31 人	19 人	30 人	－ 人	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	－ 回	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
29	施設入所者数		4,863 人	－	4,566 人	4,700 人	調査中 人	－	調査中
30	発達障害に対応できる相談支援機関等数		15 箇所	16 箇所	40 箇所	23 箇所	40 箇所	A	計画どおり進捗している。
31	サービス管理責任者の養成	養成人数	699 人	621 人	664 人	515 人	660 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	A	計画どおり進捗している。
	３．余暇								
44	障害者スポーツ指導員の養成者数		197 人	282 人	339 人	200 人	387 人	A	計画どおり進捗している。

（評価） 平成26年度実績の達成状況	A 目標値の100%以上の達成率 B 目標値の80%以上100%未満の達成率 C 目標値の60%以上80%未満の達成率 D 目標値の30%以上60%未満の達成率 E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	４．生活環境								
45	ガイドヘルパーの養成	養成人数	520 人	328 人	296 人	440 人	267 人	D	指定した民間事業所等で実施している。平成23年10月より同行援護のサービスが開始され、同行援護従事者研修が必須とされたことにより、本研修の受講者が減少傾向にあると思われる。
		研修回数	29 回	23 回	20 回	22 回	17 回	C	同上
46	同行援護従事者の養成（再掲）	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
47	盲導犬の育成頭数		41 頭	43 頭	44 頭	51 頭	45 頭	B	育成施設での利用者研修を経て、給付決定した頭数。 前年度より増加しているが、目標の給付頭数には達しなかった。 今後とも周知、マッチングに努めたい。
48	多機能トイレが整備されている県立公園	公園数	10 箇所	10 箇所	10 箇所	増加に努めます	10 箇所	－	公園の新規整備及び改修時期に併せてトイレを整備することとしており、平成26年度については該当整備が無かった。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	67 %	67 %	67 %	増加に努めます	67 %	C	15の県立公園に対して10公園で整備されている。
49	障害者駐車場が整備されている県立公園	公園数	11 箇所	11 箇所	11 箇所	増加に努めます	12 箇所	A	公園の新規整備及び改修時期に併せて駐車場を整備することとしており、平成26年度については１公園で整備した。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	73 %	73 %	73 %	増加に努めます	80 %	B	15の県立公園に対して12公園で整備されている。（未整備1、駐車場なし1、未供用公園1）
50	県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数		4,054 戸	4,080 戸	4,220 戸	4,737 戸	4,296 戸	B	概ね計画どおり進捗している。
51	エレベーターが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	6 校	9 校	11 校	増加に努めます	13 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	4.8 %	7.2 %	8.8 %	増加に努めます	10.4 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
52	多機能トイレが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	80 校	83 校	84 校	増加に努めます	85 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	64 %	66.4 %	67.2 %	増加に努めます	68 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
53	基本構想作成市町村数		14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	A	平成23年度に目標を達成した。
54	主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率		86.2 %	87.6 %	90.3 %	平成32年度末までに100%を目指します %	92.2 %	B	計画どおり進捗している。 ※主要駅＝乗降客数3,000人/日以上の駅（H22以前は5,000人以上の駅を対象としていた）
55	乗り合いバス車両のノンステップバスの導入率		33.7 %	36.6 %	44.5 %	平成32年度末までに70%を目指します %	H27.10に公表予定 %	－	平成26年度は10事業者、合計68台のノンステップバスを導入する事業に対して補助を実施する見込みとなっている。
	５．災害時における障害のある人への支援体制の整備について								
56	災害時の要援護者避難支援プランの個別計画策定着手市町村数		37 市町村	40 市町村	44 市町村	54 市町村	－ 市町村	－	平成２６年度から制度変更があった。 ※災害対策基本法の改正及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（H25.8内閣府）」により、市町村は避難行動要支援者名簿に基づく避難支援の個別計画の策定を求められる。H26年度中に6市町村が策定済み、他に8市町村が策定着手。
	６．情報コミュニケーション								
65	地域移行支援サービスの利用者数		― 人	317 人	385 人	389 人	389 人	A	計画どおり進捗している。
66	地域定着支援サービスの利用者数		― 人	751 人	1,721 人	197 人	2,086 人	A	計画どおり進捗している。
67	福祉施設からの地域生活移行者数		132 人	152 人	130 人	18～26年度までの累計 1,500人	調査中 人	－	調査中
	第８章　計画を力強く推進していくために								
69	障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催		0 回	0 回	0 回	6回以上	6 回	A	県内６カ所でフォーラムを開催した。

資料２

平成26年度　第四次千葉県障害者計画進捗状況（抜粋）

（評価）平成26年度実績の達成状況	
	A 目標値の100%以上の達成率
	B 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E 目標値の30%未満の達成率
	－ 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第２章　障害のある人もない人も共に生きる地域社会の実現に向けて								
1	千葉県自立支援協議会（現・総合支援協議会）の部会数		4 部会	5 部会	5 部会	5 部会	6 部会	A	入所・地域移行等ＷＴを組織した。
10	日常生活自立支援事業利用件数		560 件	626 件	728 件	800 件	884 件	A	高齢化の進展に伴い、着実に需要が増加しており、今後も体制整備を進めていく。
11	県が共催・後援する障害者施策等に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数		7 回	13 回	6 回	50 回	17 回	D	各種大会、講演会等を後援した。今後も当事者団体等が開催するイベントには積極的に関わっていきたい。 ※県が主催のものは含まず。69番参照

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第４章　障害のある人のための施策の展開 **１．健康と生活支援**								
23	グループホーム・ケアホーム・生活ホーム・ふれあいホームの定員		2,680 人	3,066 人	3,462 人	3,350 人	3,600 人程度（概数）	A	調査中。 目標は達成する見込み。
25	地域活動センター所在市町村数		36 市町村	35 市町村	35 市町村	54 市町村	35 市町村	D	市町村が地活センターから障害福祉サービス事業への移行を促していることから計画どおり進捗していない。県単加算の活用により実施市町村を拡大していきたい。
26	ホームヘルパーの養成	養成人数	68 人	65 人	70 人	100 人	51 人	C	精神障害のある人への支援に特化したホームヘルパーの研修。実習の受入施設を十分に確保できず、定員が目標値を下回ってしまった。
		研修回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	A	回数は計画どおり進捗している。
27	同行援護従事者の養成	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
28	行動援護従事者の養成	養成人数	30 人	31 人	19 人	30 人	－ 人	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	－ 回	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
29	施設入所者数		4,863 人	－	4,566 人	4,700 人	調査中 人	－	調査中
30	発達障害に対応できる相談支援機関等数		15 箇所	16 箇所	40 箇所	23 箇所	40 箇所	A	計画どおり進捗している。
31	サービス管理責任者の養成	養成人数	699 人	621 人	664 人	515 人	660 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	A	計画どおり進捗している。
	３．余暇								
44	障害者スポーツ指導員の養成者数		197 人	282 人	339 人	200 人	387 人	A	計画どおり進捗している。

（評価） 平成26年度実績の達成状況	A 目標値の100%以上の達成率 B 目標値の80%以上100%未満の達成率 C 目標値の60%以上80%未満の達成率 D 目標値の30%以上60%未満の達成率 E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	４．生活環境								
45	ガイドヘルパーの養成	養成人数	520 人	328 人	296 人	440 人	267 人	D	指定した民間事業所等で実施している。平成23年10月より同行援護のサービスが開始され、同行援護従事者研修が必須とされたことにより、本研修の受講者が減少傾向にあると思われる。
		研修回数	29 回	23 回	20 回	22 回	17 回	C	同上
46	同行援護従事者の養成（再掲）	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
47	盲導犬の育成頭数		41 頭	43 頭	44 頭	51 頭	45 頭	B	育成施設での利用者研修を経て、給付決定した頭数。 前年度より増加しているが、目標の給付頭数には達しなかった。 今後とも周知、マッチングに努めたい。
48	多機能トイレが整備されている県立公園	公園数	10 箇所	10 箇所	10 箇所	増加に努めます	10 箇所	－	公園の新規整備及び改修時期に併せてトイレを整備することとしており、平成26年度については該当整備が無かった。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	67 %	67 %	67 %	増加に努めます	67 %	C	15の県立公園に対して10公園で整備されている。
49	障害者駐車場が整備されている県立公園	公園数	11 箇所	11 箇所	11 箇所	増加に努めます	12 箇所	A	公園の新規整備及び改修時期に併せて駐車場を整備することとしており、平成26年度については１公園で整備した。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	73 %	73 %	73 %	増加に努めます	80 %	B	15の県立公園に対して12公園で整備されている。（未整備1、駐車場なし1、未供用公園1）
50	県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数		4,054 戸	4,080 戸	4,220 戸	4,737 戸	4,296 戸	B	概ね計画どおり進捗している。
51	エレベーターが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	6 校	9 校	11 校	増加に努めます	13 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	4.8 %	7.2 %	8.8 %	増加に努めます	10.4 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
52	多機能トイレが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	80 校	83 校	84 校	増加に努めます	85 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	64 %	66.4 %	67.2 %	増加に努めます	68 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
53	基本構想作成市町村数		14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	A	平成23年度に目標を達成した。
54	主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率		86.2 %	87.6 %	90.3 %	平成32年度末までに100%を目指します %	92.2 %	B	計画どおり進捗している。 ※主要駅＝乗降客数3,000人/日以上の駅（H22以前は5,000人以上の駅を対象としていた）
55	乗り合いバス車両のノンステップバスの導入率		33.7 %	36.6 %	44.5 %	平成32年度末までに70%を目指します %	H27.10に公表予定 %	－	平成26年度は10事業者、合計68台のノンステップバスを導入する事業に対して補助を実施する見込みとなっている。
	５．災害時における障害のある人への支援体制の整備について								
56	災害時の要援護者避難支援プランの個別計画策定着手市町村数		37 市町村	40 市町村	44 市町村	54 市町村	－ 市町村	－	平成２６年度から制度変更があった。 ※災害対策基本法の改正及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（H25.8内閣府）」により、市町村は避難行動要支援者名簿に基づく避難支援の個別計画の策定を求められる。H26年度中に6市町村が策定済み、他に8市町村が策定着手。
	６．情報コミュニケーション								
65	地域移行支援サービスの利用者数		― 人	317 人	385 人	389 人	389 人	A	計画どおり進捗している。
66	地域定着支援サービスの利用者数		― 人	751 人	1,721 人	197 人	2,086 人	A	計画どおり進捗している。
67	福祉施設からの地域生活移行者数		132 人	152 人	130 人	18～26年度までの累計 1,500人	調査中 人	－	調査中
	第８章　計画を力強く推進していくために								
69	障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催		0 回	0 回	0 回	6回以上	6 回	A	県内６カ所でフォーラムを開催した。

資料２

平成26年度　第四次千葉県障害者計画進捗状況（抜粋）

（評価）平成26年度実績の達成状況	
	A 目標値の100%以上の達成率
	B 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E 目標値の30%未満の達成率
	－ 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第２章　障害のある人もない人も共に生きる地域社会の実現に向けて								
1	千葉県自立支援協議会（現・総合支援協議会）の部会数		4 部会	5 部会	5 部会	5 部会	6 部会	A	入所・地域移行等ＷＴを組織した。
10	日常生活自立支援事業利用件数		560 件	626 件	728 件	800 件	884 件	A	高齢化の進展に伴い、着実に需要が増加しており、今後も体制整備を進めていく。
11	県が共催・後援する障害者施策等に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数		7 回	13 回	6 回	50 回	17 回	D	各種大会、講演会等を後援した。今後も当事者団体等が開催するイベントには積極的に関わっていきたい。 ※県が主催のものは含まず。69番参照

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第４章　障害のある人のための施策の展開 **１．健康と生活支援**								
23	グループホーム・ケアホーム・生活ホーム・ふれあいホームの定員		2,680 人	3,066 人	3,462 人	3,350 人	3,600 人程度（概数）	A	調査中。 目標は達成する見込み。
25	地域活動センター所在市町村数		36 市町村	35 市町村	35 市町村	54 市町村	35 市町村	D	市町村が地活センターから障害福祉サービス事業への移行を促していることから計画どおり進捗していない。県単加算の活用により実施市町村を拡大していきたい。
26	ホームヘルパーの養成	養成人数	68 人	65 人	70 人	100 人	51 人	C	精神障害のある人への支援に特化したホームヘルパーの研修。実習の受入施設を十分に確保できず、定員が目標値を下回ってしまった。
		研修回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	A	回数は計画どおり進捗している。
27	同行援護従事者の養成	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
28	行動援護従事者の養成	養成人数	30 人	31 人	19 人	30 人	－ 人	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	－ 回	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
29	施設入所者数		4,863 人	－	4,566 人	4,700 人	調査中 人	－	調査中
30	発達障害に対応できる相談支援機関等数		15 箇所	16 箇所	40 箇所	23 箇所	40 箇所	A	計画どおり進捗している。
31	サービス管理責任者の養成	養成人数	699 人	621 人	664 人	515 人	660 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	A	計画どおり進捗している。
	３．余暇								
44	障害者スポーツ指導員の養成者数		197 人	282 人	339 人	200 人	387 人	A	計画どおり進捗している。

（評価） 平成26年度実績の達成状況	A 目標値の100%以上の達成率 B 目標値の80%以上100%未満の達成率 C 目標値の60%以上80%未満の達成率 D 目標値の30%以上60%未満の達成率 E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	４．生活環境								
45	ガイドヘルパーの養成	養成人数	520 人	328 人	296 人	440 人	267 人	D	指定した民間事業所等で実施している。平成23年10月より同行援護のサービスが開始され、同行援護従事者研修が必須とされたことにより、本研修の受講者が減少傾向にあると思われる。
		研修回数	29 回	23 回	20 回	22 回	17 回	C	同上
46	同行援護従事者の養成（再掲）	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
47	盲導犬の育成頭数		41 頭	43 頭	44 頭	51 頭	45 頭	B	育成施設での利用者研修を経て、給付決定した頭数。 前年度より増加しているが、目標の給付頭数には達しなかった。 今後とも周知、マッチングに努めたい。
48	多機能トイレが整備されている県立公園	公園数	10 箇所	10 箇所	10 箇所	増加に努めます	10 箇所	－	公園の新規整備及び改修時期に併せてトイレを整備することとしており、平成26年度については該当整備が無かった。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	67 %	67 %	67 %	増加に努めます	67 %	C	15の県立公園に対して10公園で整備されている。
49	障害者駐車場が整備されている県立公園	公園数	11 箇所	11 箇所	11 箇所	増加に努めます	12 箇所	A	公園の新規整備及び改修時期に併せて駐車場を整備することとしており、平成26年度については１公園で整備した。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	73 %	73 %	73 %	増加に努めます	80 %	B	15の県立公園に対して12公園で整備されている。（未整備1、駐車場なし1、未供用公園1）
50	県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数		4,054 戸	4,080 戸	4,220 戸	4,737 戸	4,296 戸	B	概ね計画どおり進捗している。
51	エレベーターが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	6 校	9 校	11 校	増加に努めます	13 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	4.8 %	7.2 %	8.8 %	増加に努めます	10.4 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
52	多機能トイレが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	80 校	83 校	84 校	増加に努めます	85 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	64 %	66.4 %	67.2 %	増加に努めます	68 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
53	基本構想作成市町村数		14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	A	平成23年度に目標を達成した。
54	主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率		86.2 %	87.6 %	90.3 %	平成32年度末までに100%を目指します %	92.2 %	B	計画どおり進捗している。 ※主要駅＝乗降客数3,000人/日以上の駅（H22以前は5,000人以上の駅を対象としていた）
55	乗り合いバス車両のノンステップバスの導入率		33.7 %	36.6 %	44.5 %	平成32年度末までに70%を目指します %	H27.10に公表予定 %	－	平成26年度は10事業者、合計68台のノンステップバスを導入する事業に対して補助を実施する見込みとなっている。
	５．災害時における障害のある人への支援体制の整備について								
56	災害時の要援護者避難支援プランの個別計画策定着手市町村数		37 市町村	40 市町村	44 市町村	54 市町村	－ 市町村	－	平成２６年度から制度変更があった。 ※災害対策基本法の改正及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（H25.8内閣府）」により、市町村は避難行動要支援者名簿に基づく避難支援の個別計画の策定を求められる。H26年度中に6市町村が策定済み、他に8市町村が策定着手。
	６．情報コミュニケーション								
65	地域移行支援サービスの利用者数		― 人	317 人	385 人	389 人	389 人	A	計画どおり進捗している。
66	地域定着支援サービスの利用者数		― 人	751 人	1,721 人	197 人	2,086 人	A	計画どおり進捗している。
67	福祉施設からの地域生活移行者数		132 人	152 人	130 人	18～26年度までの累計 1,500人	調査中 人	－	調査中
	第８章　計画を力強く推進していくために								
69	障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催		0 回	0 回	0 回	6回以上	6 回	A	県内６カ所でフォーラムを開催した。

資料２

平成26年度　第四次千葉県障害者計画進捗状況（抜粋）

（評価）平成26年度実績の達成状況	
	A 目標値の100%以上の達成率
	B 目標値の80%以上100%未満の達成率
	C 目標値の60%以上80%未満の達成率
	D 目標値の30%以上60%未満の達成率
	E 目標値の30%未満の達成率
	－ 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第２章　障害のある人もない人も共に生きる地域社会の実現に向けて								
1	千葉県自立支援協議会（現・総合支援協議会）の部会数		4 部会	5 部会	5 部会	5 部会	6 部会	A	入所・地域移行等ＷＴを組織した。
10	日常生活自立支援事業利用件数		560 件	626 件	728 件	800 件	884 件	A	高齢化の進展に伴い、着実に需要が増加しており、今後も体制整備を進めていく。
11	県が共催・後援する障害者施策等に係るタウンミーティング・シンポジウム等の回数		7 回	13 回	6 回	50 回	17 回	D	各種大会、講演会等を後援した。今後も当事者団体等が開催するイベントには積極的に関わっていきたい。 ※県が主催のものは含まず。69番参照

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	第４章　障害のある人のための施策の展開 **１．健康と生活支援**								
23	グループホーム・ケアホーム・生活ホーム・ふれあいホームの定員		2,680 人	3,066 人	3,462 人	3,350 人	3,600 人程度（概数）	A	調査中。 目標は達成する見込み。
25	地域活動センター所在市町村数		36 市町村	35 市町村	35 市町村	54 市町村	35 市町村	D	市町村が地活センターから障害福祉サービス事業への移行を促していることから計画どおり進捗していない。県単加算の活用により実施市町村を拡大していきたい。
26	ホームヘルパーの養成	養成人数	68 人	65 人	70 人	100 人	51 人	C	精神障害のある人への支援に特化したホームヘルパーの研修。実習の受入施設を十分に確保できず、定員が目標値を下回ってしまった。
		研修回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	A	回数は計画どおり進捗している。
27	同行援護従事者の養成	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
28	行動援護従事者の養成	養成人数	30 人	31 人	19 人	30 人	－ 人	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	－ 回	－	国による研修制度の見直しに伴い、類似する「強度行動障害支援者養成研修（基礎）」を替わりに開催した。
29	施設入所者数		4,863 人	－	4,566 人	4,700 人	調査中 人	－	調査中
30	発達障害に対応できる相談支援機関等数		15 箇所	16 箇所	40 箇所	23 箇所	40 箇所	A	計画どおり進捗している。
31	サービス管理責任者の養成	養成人数	699 人	621 人	664 人	515 人	660 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	A	計画どおり進捗している。
	３．余暇								
44	障害者スポーツ指導員の養成者数		197 人	282 人	339 人	200 人	387 人	A	計画どおり進捗している。

（評価） 平成26年度実績の達成状況	A 目標値の100%以上の達成率 B 目標値の80%以上100%未満の達成率 C 目標値の60%以上80%未満の達成率 D 目標値の30%以上60%未満の達成率 E 目標値の30%未満の達成率 － 達成率による自己評価ができない

	項　目		23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	26年度（実績）	評価	成果状況等
	４．生活環境								
45	ガイドヘルパーの養成	養成人数	520 人	328 人	296 人	440 人	267 人	D	指定した民間事業所等で実施している。平成23年10月より同行援護のサービスが開始され、同行援護従事者研修が必須とされたことにより、本研修の受講者が減少傾向にあると思われる。
		研修回数	29 回	23 回	20 回	22 回	17 回	C	同上
46	同行援護従事者の養成（再掲）	養成人数	89 人	575 人	967 人	500 人	880 人	A	計画どおり進捗している。
		研修回数	3 回	30 回	44 回	20 回	49 回	A	計画どおり進捗している。
47	盲導犬の育成頭数		41 頭	43 頭	44 頭	51 頭	45 頭	B	育成施設での利用者研修を経て、給付決定した頭数。 前年度より増加しているが、目標の給付頭数には達しなかった。 今後とも周知、マッチングに努めたい。
48	多機能トイレが整備されている県立公園	公園数	10 箇所	10 箇所	10 箇所	増加に努めます	10 箇所	－	公園の新規整備及び改修時期に併せてトイレを整備することとしており、平成26年度については該当整備が無かった。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	67 %	67 %	67 %	増加に努めます	67 %	C	15の県立公園に対して10公園で整備されている。
49	障害者駐車場が整備されている県立公園	公園数	11 箇所	11 箇所	11 箇所	増加に努めます	12 箇所	A	公園の新規整備及び改修時期に併せて駐車場を整備することとしており、平成26年度については１公園で整備した。（公園数は整備済み公園数）
		整備率	73 %	73 %	73 %	増加に努めます	80 %	B	15の県立公園に対して12公園で整備されている。（未整備1、駐車場なし1、未供用公園1）
50	県営住宅のうちバリアフリー化された住宅数		4,054 戸	4,080 戸	4,220 戸	4,737 戸	4,296 戸	B	概ね計画どおり進捗している。
51	エレベーターが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	6 校	9 校	11 校	増加に努めます	13 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	4.8 %	7.2 %	8.8 %	増加に努めます	10.4 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
52	多機能トイレが整備されている県立高等学校（再掲）	学校数	80 校	83 校	84 校	増加に努めます	85 校	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
		整備率	64 %	66.4 %	67.2 %	増加に努めます	68 %	A	２５年度以降、整備箇所数を増やすことができた。
53	基本構想作成市町村数		14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	14 市町村	A	平成23年度に目標を達成した。
54	主要駅エレベーター・エスカレーターの整備率		86.2 %	87.6 %	90.3 %	平成32年度末までに100%を目指します %	92.2 %	B	計画どおり進捗している。 ※主要駅＝乗降客数3,000人/日以上の駅（H22以前は5,000人以上の駅を対象としていた）
55	乗り合いバス車両のノンステップバスの導入率		33.7 %	36.6 %	44.5 %	平成32年度末までに70%を目指します %	H27.10に公表予定 %	－	平成26年度は10事業者、合計68台のノンステップバスを導入する事業に対して補助を実施する見込みとなっている。
	５．災害時における障害のある人への支援体制の整備について								
56	災害時の要援護者避難支援プランの個別計画策定着手市町村数		37 市町村	40 市町村	44 市町村	54 市町村	－ 市町村	－	平成２６年度から制度変更があった。 ※災害対策基本法の改正及び「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針（H25.8内閣府）」により、市町村は避難行動要支援者名簿に基づく避難支援の個別計画の策定を求められる。H26年度中に6市町村が策定済み、他に8市町村が策定着手。
	６．情報コミュニケーション								
65	地域移行支援サービスの利用者数		― 人	317 人	385 人	389 人	389 人	A	計画どおり進捗している。
66	地域定着支援サービスの利用者数		― 人	751 人	1,721 人	197 人	2,086 人	A	計画どおり進捗している。
67	福祉施設からの地域生活移行者数		132 人	152 人	130 人	18～26年度までの累計 1,500人	調査中 人	－	調査中
	第８章　計画を力強く推進していくために								
69	障害者計画推進のためのタウンミーティングの開催		0 回	0 回	0 回	6回以上	6 回	A	県内６カ所でフォーラムを開催した。